

# 好きな俳句を選んで、歌にしよう

高校 2年 選択音楽  
「日本の音楽に親しもうⅡ  
～旋律づくり～」  
資料の活用

## ねらい

- 言葉や音楽の構成に関心を持ち、それを活かして主体的に創作活動に取り組む。
- 普段読まないジャンルの本に触れ、日本語の面白さを発見する。

## 学習展開

- ① 学校司書が用意した本から、好きな俳句・川柳を探して決める。
- ② 音符カードを並び変えながら、言葉のリズムを考える。
- ③ 日本語アクセント辞典を使って、作品に使われている言葉の抑揚を調べる。
- ④ 調べた抑揚をもとに、日本音階の5音を用いて音程をつけ、旋律を作る。
- ⑤ 前時までに考えてきた旋律を楽譜にする。
- ⑥ 楽譜を見ながら歌う練習をし、作品を発表し合う。



好きな俳句・川柳を選ぶ 日本語の抑揚を調べる

旋律づくりをしよう

| 音階の名称  | 構成音               | 代表曲                     | 特徴              | 創作のポイント                           |
|--------|-------------------|-------------------------|-----------------|-----------------------------------|
| 民謡音階   | カ コメのこめ<br>ミ ソラシレ | かごめかごめ<br>ソーラン節<br>等    | ホ、ハ             | ・ホから始める<br>・ソで終わる<br>・全音の音を使わずに半音 |
| 童謡音階   | ウタタ<br>ミ ソラ シレ    | うたた<br>さくらさくら<br>等      | ホ、ヘ、ニ、ハ         | ・ウタタから始める                         |
| ヨメ抜き音階 | ドレミソラ<br>ドレミソラ    | 夕焼け小焼け<br>星の光<br>パプリカ 等 | ホ、ヘ、ニ、ハ、ニ、ハ、ヘ、ホ | ・ドをソのどれかから始める<br>・ドで終わる           |

旋律づくりのワークシート▶

## ◆司書教諭と学校司書の関わり

- 学校司書、司書教諭、教科担当で、どんな文学作品に旋律をつけるか等、授業内容を相談する。
- 学校司書は県立図書館のレファレンスサービスを利用し、生徒が興味をもちそうな俳句や川柳の作品集を用意する。
- 学校司書、司書教諭は日本語アクセント辞典を用意し、教科担当と一緒に辞典の使い方を指導する。

## ★指導のポイント

- ◆文字の量や大きさ、写真・イラストの多さなど、生徒が読みやすい本を選書する。古典俳句だけでなく、笑ってしまうような面白い現代川柳も用意し、親しみを持たせる。
- ◆日本語アクセント辞典で言葉を探す際に一緒に発音をすることで、アクセント記号の見方を伝える。

## 資料

「わくわく子ども俳句スクール」全3巻 国土社、「俳句でみがこう言葉の力」全4巻 学研プラス、「小学生のための俳句帖 みんなで楽しく五・七・五！」朝日小学生新聞社、「俳句わくわく5!!」岐阜新聞社、「子どもおもしろ歳時記」理論社、「新明解日本語アクセント辞典」三省堂 等